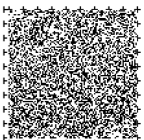
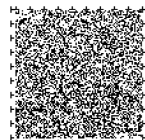
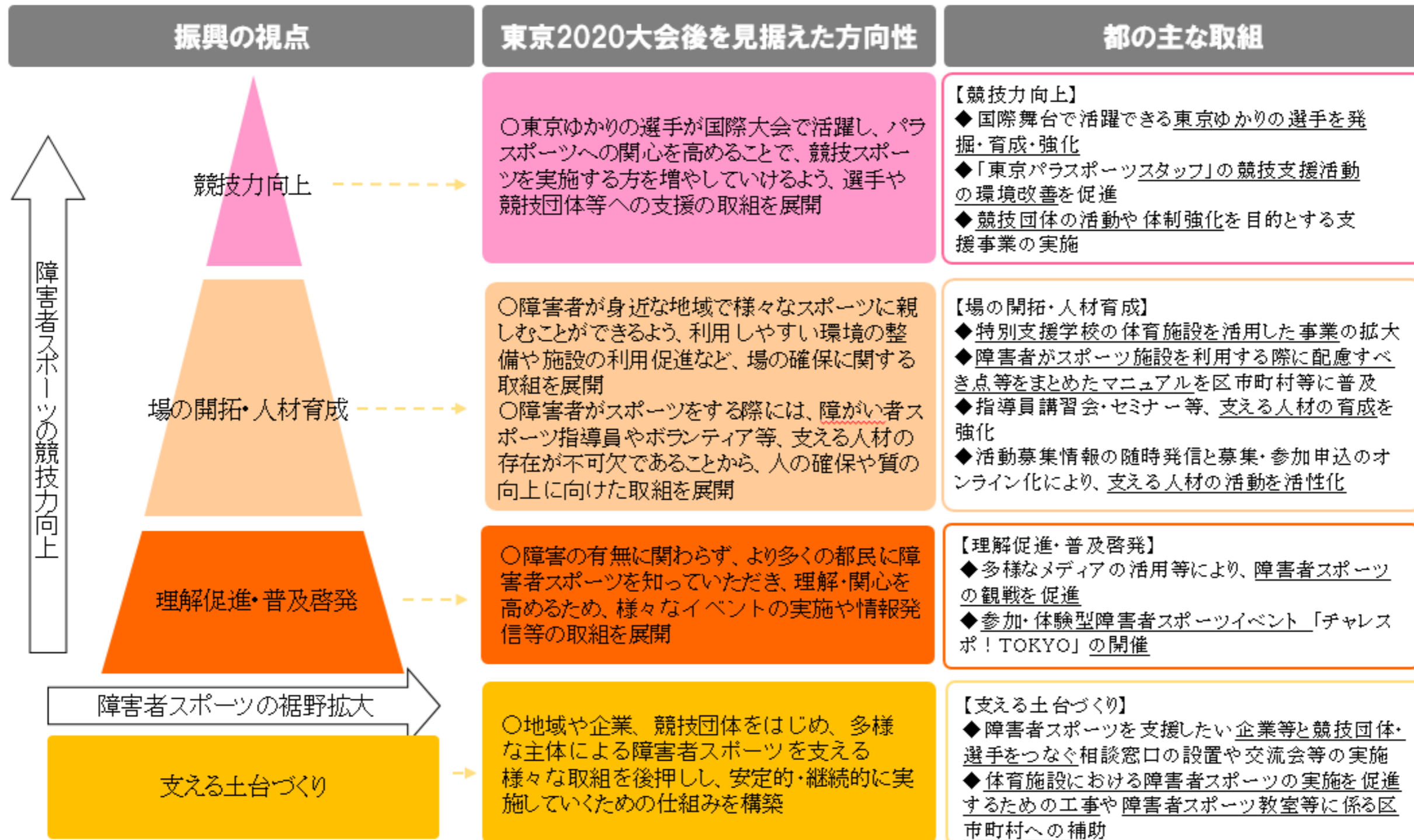


障害者スポーツの振興について

多くの人がパラスポーツに関われる仕組みを構築し、パラスポーツをポピュラーなコンテンツに育て上げるとともに、障害の有無を問わず、誰もが楽しめるユニバーサルなスポーツとして普及を図る。

<2030年に向けた政策目標> ○障害のある都民のスポーツ実施率50% ○パラスポーツに関心がある都民の割合80%



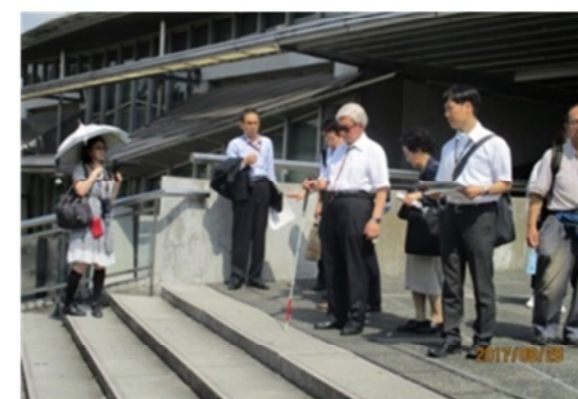
東京2020大会に向けた取組（競技会場の整備）

アクセシビリティ・ワークショップ

東京2020大会で使用する都立競技施設については、ガイドラインを適切に反映することに加え、障害のある方がより利用しやすい施設となるよう、設計段階において、障害のある方や学識経験者等から直接意見を聴取するために設置し、「東京都福祉のまちづくり推進協議会」と連携して実施（外部委員9名で構成）



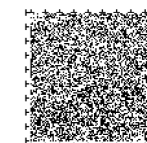
大会時のみでなく、大会後の利用も見据えて、**障害のある人もない人も含めた全ての人にとって使いやすい施設を残すことを目指す**



委員による競技施設の視察

<整備事例>

- ・ 車いす使用者席前列の観客が立ち上がった場合でも、車いす使用者の視界を妨げないよう、サイトラインを原則確保
- ・ 便房には、災害発生を発光で知らせるフラッシュランプを設置
- ・ サインについては、弱視など様々な方にとって見やすいフォントを選定
- ・ 新施設においては、救護室が近くないエリアには、一時的に落ち着ける、カームダウン・クールダウンを用意（既存施設では恒常的な設置が困難な場合、イベント時に一時的に利用できる会議室・スペースを活用） など



東京2020大会に向けた取組（競技会場の整備）

都が整備する競技会場

東京アクアティクスセンター ※



有明アリーナ ※



海の森水上競技場 ※



カヌー・スラロームセンター



大井ホッケー競技場



夢の島公園アーチェリー場 ※



有明テニスの森 ※



武蔵野の森総合スポーツプラザ ※



東京体育館 ※



東京辰巳国際水泳場



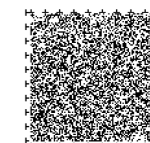
東京スタジアム



新施設

既存施設

※パラリンピック競技大会が
開催される会場



東京2020大会に向けた取組（心のバリアフリー推進）

公式Twitter「インくるの部屋」

パラアスリートが日常生活で周囲の方のちょっとした配慮で嬉しかったエピソードなどを、ナビゲーターの「インくる」が毎週火曜日に紹介

アカウント名「インくるの部屋」

[@inclu_tokyo](https://twitter.com/inclu_tokyo)

https://twitter.com/inclu_tokyo



<これまでの投稿>

インくるの部屋
@inclu_tokyo

パラアスリートの田口亜希（たぐちあき）さんに話を聞いたよ。

「多機能トイレしか利用できない人にとって、それしか選択肢がないことを知ってほしい」と言っていたよ。“だれでもトイレ”とも呼ばれるけど、広いスペースでないと困ることが多い車いすの人などを優先できるようにしたいね。

インくるの部屋
@inclu_tokyo

パラアスリートの山本恵理さんに話を聞いたよ。

スーパーで大葉が取りにくいところにあって困ったみたい。店員さんをお願いしたら、箱ごととって「どれにしますか？」と選ばせてくれたんだって。自分で選べる喜びってあるよね。コミュニケーションをとると、お互いの気持ちが伝わるね。

